

氏名	吉永亜子	部署	健康開発学科健康行動科学専攻	職名	准教授
研究分野	健康科学				
学位	博士				
学歴	(非公開)				
経歴	2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年同准教授				
所属学会（役職）	SPU学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	命のねだん	単著	あり	文芸社、128	吉永千恵子、(監修) 吉永亜子	2022年7月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	健康行動科学入門I		1	参加型授業で、学生さんに考える力を伸ばしてもらえるようにした。		
2	健康行動科学入門II		1	先輩の体験談を紹介する等、学生さんの関心を高める工夫をした。		
3	スタートアップセミナー		15	検索時に発信者情報を見る意味を考える等、洞察力の向上を図った。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	健康科学6（健康生活測定）	○	16	運動を6週間続け、自身の心身の変化を実感できるようにした。		
2	IPW演習		14	この授業から何を自分は身につけるのかを、意識できる工夫をした。		
3	課題別演習I		15	「ゼミは大学で一番頭を使った授業」と学生から評価される工夫		
4	課題別演習II		15	同上。考える範囲を広げる等、学生の能力を引き出すようにした。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	看護臨床実習	○	30	現場の声を基に、臨床での実践力に繋がる実習をしてもらった。		
(4) 論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2022.4-2023.1	主指導	5名	副指導	名
(5) その他						
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	文章力を高める支援	2022.4-2023.3	学生の要請に応じ、150から600字程度の作文力を上げる支援をした。			
2	学生の長期体調不良支援	2022.4-2023.3	学生1人の鬱に気づき専攻長と共に治療につなげた。週1回のZoom継続			

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	該当なし		
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	越谷市	防災会議の委員（無償）	2016.4－現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	該当なし		
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		